

# グリーンスポーツ鳥取

## 平成 18 年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館	大会議室
開催日時	平成 19 年 9 月 2 日午後 1 時 30 分	
会員総数	28 名	
出席会員数	21 名	内訳 本人出席 12 名 委任状提出 9 名

### 1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

### 1. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

## 平成 18 年度事業報告

### 1. 活動報告及びグリーンフィールド運営や行政関連事項の報告

スミス理事長より① グリーンフィールドの用地貸借契約が 3 月末で満了となった関係で、再契約の議案が 3 月に開催された鳥取県議会で承認され、4 月 20 日付けで新たに 5 年間の契約が締結されたこと、② 地元住民によるグリーンフィールドの利用及びスポーツクラブや住民主導のイベント利用が順調に増えたことにより天然芝生に対する認識がさらに拡大したこと、③ 様々な方面から指導や視察の依頼が多数寄せられており、鳥取方式芝生化が順調に進展していること、④ GST の財務状況が相変わらず厳しいこと等の報告があった。

### 2. グリーンフィールドの整備及び芝生化支援活動

中野理事より冬芝のオーバーシーディング作業及びその後の維持管理の説明が報告された。

また、日本芝草学会と協力して、芝生化支援活動の一環として県内保育園・幼稚園 7 カ所の芝生化が実施された。また、大小問わず鳥取方式による芝生化事例が 70 カ所にのぼるとの報告があった。また、新しい取り組みとして、国土交通省と契約し (NPO との契約が全国初) さらに「安価な河川敷の芝生化」の試作が行われているとの報告があった。

### 3. EASE フットボールクラブ

神近理事から EASE クラブの会員数が安定しており、年齢別に 8 チームがあり、各々が週 2 回程度の練習とリーグ間交流を実施、大会等の試合では良い成績を上げているとの報告があった。

### 4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

福田理事より 2006 年 9 月からのシーズンで県内外の相手と対外試合を 6 試合が行われ、2 勝 4 敗の成績に終わったこと、ジュニアの部も順調に会員を増やし、11 月に開催された鳥取県ラグビー大会で初優勝をし、その模様が NHK で放送されたこと等が報告された。

### 5. 湖山西自治会との連携

納涼祭やほかのイベントが開催されており、住民からは引き続きよく利用され、地域社会の大事な役割を果たしているとの報告があった。

### 6. 決算報告

新理事より平成 18 年度の決算報告があった。平成 18 年赤字決算は営利事業の中の京都大学グラウンド芝生化関連事業の出費と収入のずれによるものだと説明があった。

## 7. 会計監査報告

法人の監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適正且つ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

## 8. 承認

特に質問及び異議がなく、18年度の事業報告並びに決算報告及び監査報告が満場一致により承認された。

## 9. 理事の移動

理事の内、1名が一身上の都合により辞任し、後任に2名が就任し、理事が9名となり、定款（第4章第13条(1)）の理事8～10名の条件を満たしているとの報告があった。

## 平成19年度事業計画

### 1. 19年度の事業計画

当法人の目的である地域密着型スポーツクラブの育成の場として整備や維持管理を実施し、趣味として生涯スポーツに重点を置くサッカーとラグビークラブの会員をさらに増やし、同時にニュースポーツの普及に着目すること、地域住民が生活の中の一部として「芝生広場」の利用認識をさらに高めることにより、学校校庭・空き地芝生化の支援活動をさらに活発にして行くこと等の報告があった。

### 2. 整備及び芝生化支援活動について

納涼祭での芝生の傷みが非常に少なかった為、例年の補修作業は行わないこと、経費削減の為、冬シバ対策として今まで年間数十万円を投じて播種をしていたライグラスの代わりに芝刈りのタイミングを調整することによって自然に生える「スズメのカタバira」に徐々に切り替える計画があるとの報告があった。

現在東京都で推進している校庭芝生化計画は財政の難しい地方都市では現実的ではないことから京都大学ラグビーグラウンドの芝生化をきっかけに視察や発表会を通じて鳥取方式の低コスト芝生化に対する認識を高める活動に取り組んでいくことも報告された。

### 3. EASE フットボールクラブ

去年同様、幼稚園児から社会人までの年齢別のチーム構成のあるクラブ作りで、それぞれのレベルにおけるリーグ戦や大会等の出場、EASE主催の大会及び同リーグ戦の参加等を通じて、楽しみ重視と競技志向の両方を重ね備えたクラブ構造を目指すこと、また、当広場に訪問する各種スポーツチームの代表者にはホームグラウンドの芝生化を促す努力もしていくとの報告があった。

### 4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

9月下旬からは第4シーズンを迎え、小中学生の会員を増やす活動をし、クラブの底辺拡大を図ると同時に、社会人チームに関してはレベルでは11月、12月、1月にすでに県内外チームと交流試合が予定されており、試合数を増やす計画があること。地元壮年団と協力し会員募集を図っていくことも検討されていること。ジュニア一部ではタグラグビー大会の連覇を目指し日々の練習や県内外のジュニアチームとの交流試合を組む予定があること、短いシーズンの中で、週1回の練習でも技術的な向上が可能であることを証明する貴重なクラブであるとの報告があった。

### 5. 湖山西自治会との連携

湖山西自治会の山根副会長より自治会が鳥取市の地域活性化事業の補助金を受けて、グリーンフィールドのトイレの前に花壇を設けたい旨が報告された。理事長からグリーンスポー

ツ鳥取としては「住民による花壇の手入れが行き届いていること」が条件で、この計画に賛同しているコメントがあった。

#### 6. 19年度予算案

平成19年度の予算案が提出された。収入及び支出予算額の急増の背景には京都大学ラグビーグラウンドの様な大型事業があるとの説明があった。

#### 7. 19年度役員について

現在の9理事で続ける事との報告があった。

#### 8. 質疑応答

会員の一人から当法人の活動が未だに広く認識されていないくて、興味のある自治会や町内会、スポーツ団体からの依頼に対して積極的に説明会を開くことを検討すべきではないかとの指摘があった。その指摘に対して、理事長からこの提案は既に理事会で議論されており、資料を準備しているとの回答があった。

また、視察や講演活動についての情報をHP等で紹介したらどうかとの指摘に対して、これも現在HPの管理者に相談していると理事長から回答があった。

会員の一人から芝生を張るときの問題点や養生期間に関する質問があり、中野理事より特に問題はなく、養生期間として3ヶ月が必要との回答があった。

予算・事業案に対する質問がなかった為、19年度予算案が満場一致で承認された。

#### 9. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後2時45分に閉会を宣した。

#### 1. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

#### 1. 閉会の挨拶

スミス理事長より湖山西小学校が校庭芝生化を検討しているとのコメントに対して、湖山の住民が既に芝生の良さを十分人認識しているはずであり、確認したいときは校庭の一部を芝生化するよりは次回の運動会をグリーンフィールドで開催したらどうかとの提案があつて、総会を閉会した。

平成19年9月02日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長	谷 尾 洋 介	印
会員	ニール スミス	印
会員	中野 淳一	印